

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせまします。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

今週の紙面

- 2面 女性ニュース/国会
- 3面 読者のページ/まんが/短歌
- 4~5面 第180回中央委員会決定
- 6面 特別決議/ホットライン
- 7面 /母の歴史/ジェンダーリレー講座/遊びで育つ



埼玉・所沢市 中村茂子

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

女性参政権行使75年 持続可能な社会へ

女性の一票で変えよう 選挙に行こう!

次世代向け選挙アンケートはココから↓



いのちと暮らしを守る コロナ対策を

- ・医療・保健所の充実
- ・コロナ検査の抜本拡充

- ・消費税の減税
- ・暮らせる年金を

- ・8時間働けば普通に暮らせる社会
- ・最低賃金時給1500円
- ・正規雇用を当たり前

- ・出産・子育て費用の公費負担拡充
- ・幼児教育・保育の充実

- ・少人数学級
- ・小中学校の給食無料化
- ・大学の授業料半額、給付型奨学金

ジェンダー平等

～だれもが尊重される社会



- ・選択的夫婦別姓実現
- ・政策決定の場に女性を
- ・同性婚、LGBTQ差別解消
- ・生理用品の無料提供
- ・「性的同意」を入れた刑法改正

食べ物、環境

～気候危機を止める



- ・原発ゼロ
- ・脱プラスチック
- ・再生可能エネルギーへの大転換

平和

～核兵器禁止条約の批准



- ・憲法9条を守り、いかに
- ・軍事費削減、安保法制の廃止
- ・沖縄辺野古新基地建設中止

イラスト・山岡小麦

連日「コロナ対策を訴えるアーダーン首相。昨秋の総選挙で圧勝し、多様な議会に。全学校での生理用品無料配布や最賃引き上げなど次々実施



© Dave Rowland/Getty Images News/Getty Images

ここ10年、冬になると娘一家の住むニュージーランド(以下NZ)に1カ月半ばかり行くことにしています。今回は去年の2月に出かけ、コロナで封じ込められ、1年を超える羽目になりました。娘たちは北島のファンガレイ市(5万人)で暮らしています。

外国旅行者が次々とコロナウイルスを持ち込みました。NZは人口500万人の少人数国。感染者が欧米のような勢いで観光地に広がったら、こ

1カ月半のつもりが コロナで…

の国は滅びてしまつとの危機感を政府と国民が共有していました。

寄稿

女性参政権発祥の地、コロナ対策の模範国 ニュージーランド滞在記

今井康之

4月10日は日本で初めて女性が参政権を行使した日。今年は北海道、長野、広島で衆院・参院の補欠・再選挙(4月25日投票)や東京都議選(7月4日投票)、10月までには衆院議員選挙があります。女性・市民と野党の共同で、政権交代を実現し、誰一人とり残さない社会をつくりましよう。

国民は安心して自宅にこもっていました。いまNZは感染対応の模範国として注目されています。政府は一貫して国民の生命と経済を天秤にかけませんでした。厳しい規制を行いました。次つぎに先手を打ち続け、終息に導きました。国民は政府を信頼し、政府は国民を信用しました。結局これが早道でした。

政府は去年3月に緊急事態宣言を発し、医療と生活ライン従事者を除く国民に自宅待機を要請しました。同時に補償を約束しました。給与と生活者、個人営業者などには向こう3カ月分一律50万円、臨時・パート者には勤務時間に関係なくその60%。申請もネットでOKというさつくりしたものでした。それがなんと、申請から1週間後には口座に振り込まれていました。

